

令和 5 年11 月吉日

各 位

東京大学医学部附属病院精神神経科
TICPOC 事務局

東京大学「職域・地域架橋型 価値に基づく支援者育成」
C コース受講生募集のご案内

平素より大変お世話になっております。

この度、2024 年度の C コースの受講生募集を開始いたしました。こちらは、医療場面で多職種協働のできる心理職や、医療－学校－行政を架橋できるコーディネーター人材を育成する講座となります。

募集案内を送付させていただきますので、ご関心をお寄せいただけそうな方の目に留まるよう、ご掲示もしくはご回覧いただけますと幸いです。

お忙しいところお手数をおかけいたしまして恐縮ですが、何卒よろしくお願い申し上げます。

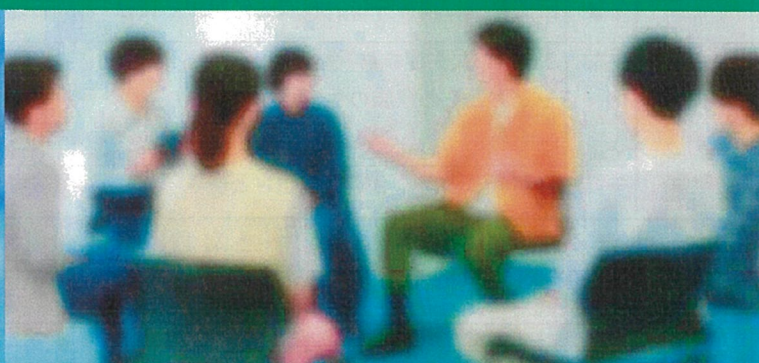
東京大学医学部附属病院精神神経科
TICPOC 事務局
utokyo.coproduction.training@gmail.com
<https://co-production-training.net/>

東京大学履修証明プログラム 多職種・地域連携 支援者育成

受講生募集 2024.1.5締切

- ☑ 多様な分野・職種の人と学べます
- ☑ 履修証明書が授与されます *要件有
- ☑ 3つの基本素養を軸に学びます
 1. Trauma-Informed care
トラウマを熟知して支援できる
 2. Co-Production
当事者と共同創造できる
 3. Organizational Change
これらの実現のため組織文化を変革
頭文字から「TICPOC 教育プログラム」と呼んでいます

TICPOC



C-1コース 心理支援職

医療をはじめとする様々な領域で心理支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が主な対象です。

看護、精神保健福祉、作業療法、薬剤、栄養、学校教育など多様な職域の社会人で、個人の心理・行動のアセスメントに基づく支援力向上を目指す方等も対象に含みます。

開催形式

基本的に全日程、東京大学（本郷）構内で行う。

※東大本郷キャンパス（文京区本郷7-3-1）

※対面とオンラインのハイブリット対応や録画配信は無し

受講期間

2024年4月～2025年3月

応募資格

(1)(2)双方を満たす方

(1) 4年制大学卒業業者、または大学卒業業者と同等以上の学力を有すると認められた22歳以上の方

(2) 医療、学校、行政(保健・福祉)等の領域で対人支援職を目指す方。又は、既に対人支援に従事しており、さらに高度な知識・技術を身につけようとする方

募集人員

職域架橋型コース (C-1) 40名、地域連携型コース (C-2) 60名

※C-1とC-2の両方のコースの申込みも可能です。

C-2コース (地域) 対人支援職

行政、社会福祉、学校教育、NPO法人等で対人支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が主な対象です。

医療職等で地域との連携について学びたい方、心理職等個人の支援にあたる方で社会的支援の視座を深めたい方等も対象に含みます。

出願期間

2023年11月20日～2024年**1月5日**（消印有効）

（書類選考・必要に応じてオンライン面接）

出願先

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学 CRC A棟1F 精神神経科 TICPOC事務局



出願書類

履歴書・エントリーシート・志願理由書・応募資格を証明する書類等
詳細：<https://co-production-training.net/application-c/>

選考発表及び受講手続き

令和6年（2024年）1月31日（郵送又は電子メールにて通知する。）

受講を認められた方には関係書類を送付する。

受講料

各コース1年間 9万円（学生は5万円）

※他コースの受講者が本コースの講義を単回受講する場合は、1.5万円/日（学生は0.8万円/日）の受講料となる。

※C-1・C-2両コース受講の場合1年間15万円（学生：8万円）

問い合わせ先

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 CRC A棟 1階 精神神経科 TICPOC事務局

E-mail: utokyo.coproduction.training@gmail.com URL: <https://co-production-training.net/>

2024 年度プログラム

- 時間 9:00-18:00 オリエンテーションや振り返りを含みます。(コアタイム 10:00～16:45。初回 4/21 の時間は別途お知らせします。)
 - ※他に外部実習あり、詳細は講義初日にご説明します。
- 形式 基本的に全日程、東京大学(本郷)構内で行います。東大本郷キャンパス(文京区本郷 7-3-1)
 - ※対面とオンラインのハイブリッド対応や録画配信はありません。
- 司会 東京大学医学部附属病院 精神神経科 笠井清登・熊倉陽介・金原明子、東京武蔵野病院 高橋優輔・栃木県立岡本台病院 田尻智哉 他
- その他 講師、講義タイトル、内容は変更となる可能性があります。

C-1 職域架橋型コース

5/26(日)	午前	患者・家族の言葉からみえてくるがん療養生活	赤穂理絵	東京女子医科大学神経精神科准教授
	午後	総合病院の心理臨床と支援者支援	舘野由美子 千葉ちよ	国家公務員共済組合連合会虎の門病院 心理部室長 臨床心理士/公認心理師 東京医療センター精神科 臨床心理士/公認心理師
10/20(日)	午前	複雑なトラウマを抱える人の支援と回復	野坂祐子	大阪大学大学院 人間科学研究科教授
	午後	見えない心を可視化する ー心理アセスメントによるケース理解ー	中村紀子	中村心理療法研究室 治療的アセスメント・ アジアパシフィックセンター臨床心理士
12/15(日)	午前	精神分析	池田暁史	大正大学心理社会学部教授
	午後	困難事例に精神分析的視点を活用するには	若佐美奈子	神戸女学院大学心理学部准教授
2025年 2/16(日)	午前	22q11.2欠失症候群-重複する障害を抱えた子どもとその家族の生活-	「22 HEART CLUB～ 22q11.2欠失症候群の 子どもとその親が集う サークル」会員	22 HEART CLUB
	午後	当事者としての治療者の強さと弱さ	富樫公一	甲南大学文学部教授

C-2 地域連携型コース

6/16(日)	午前	被害者支援～TICに基づく支援と支援者支援～	鶴田信子	被害者支援都民センター心理相談担当責任者
	午後	薬物依存症をもつ人を地域で支える	松本俊彦	国立精神・神経医療研究センター部長
9/8(日)	午前	ピアサポートワーカーとコ・プロダクション	宮本有紀 里村嘉弘 佐々木理恵	東京大学大学院医学系研究科准教授 東京大学医学のダイバーシティ教育研究センター准教授 東京大学医学のダイバーシティ教育研究センター 学術専門職員・ピアサポートワーカー
	午後	東日本大震災被災地におけるメンタルヘルス対策	大塚耕太郎	岩手医科大学医学部神経精神科学講座教授
2025年 1/26(日)	午前	臨床心理学の社会論的転回	東畑開人	白金高輪カウンセリングルーム 主宰・臨床心理士
	午後	当事者と専門職による協働する 研究・支援の先に見えたもの	山口創生 山田悠平	国立精神・神経医療研究センター室長 精神障害当事者会ボルケ代表理事
2025年 3/2(日)	午前	地域における退院支援・若者支援の実践と 人材育成	田尾有樹子	社会福祉法人巣立ち会理事長
	午後	精神障害にも対応した地域包括ケアと権利擁護	藤井千代	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部長

C-1・C-2 合同講義

4/21(日)	午前	当事者研究	熊谷晋一郎 綾屋紗月 上岡陽江	東京大学先端科学技術研究センター准教授 東京大学先端科学技術研究センター特任准教授 ダルク女性ハウス代表
	午後	多職種協働における折衷主義から多元主義へ Values-based practice ー価値観の多様性に向きあう実践医療倫理ー	村井俊哉 榊原英輔	京都大学大学院医学研究科教授 東京大学医学部附属病院講師
10/6(日)	午前	トラウマインフォームドケアと トラウマ焦点化治療	亀岡智美	兵庫県こころのケアセンター 副センター長兼研究部長
	午後	『責任、帰責性、「自己責任」』	國分功一郎 熊谷晋一郎	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授 東京大学先端科学技術研究センター准教授

国立大学法人 東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部 精神科デイホスピタル部門 精神保健・臨床心理デイケア研修プログラム

東京大学 履修証明プログラム
2024年度 第34期研修生募集

●コースの紹介

当コースは、**精神疾患当事者（主に統合失調症）のリカバリー**に関して、実務研修を通じてその心理社会的実践技法を修得し、あわせてその背景理論も学習することにより、広い視点を身につけた精神科リハビリテーションの専門家を養成することを目的としています。

規定カリキュラムの全ての課程を履修することで履修証明書が交付されます。
*リカバリー：リカバリーとは、個人の態度や価値（本人にとって大切なこと）、感情、目標、技術や役割が変化していく過程のこと、これはとても個人的で、人によって異なる過程である。精神の病気に制限があったとしても、何かに貢献し、希望にあふれ、満たされた生活を送る生き方である。

基礎コース（1年目）

集団場面を通じて個人への接し方と障害の把握の仕方、治療者としての振る舞いを修得します。デイケアの治療構造、SST（社会生活技能訓練）、心理検査、精神医学全般について、講義や院内及び地域の関連機関の見学を通して見識を深めます。

SST普及協会認定講師によるSST初級リーダー講習に参加し、SSTのリーダーをするための知識を蓄えます。

当事者と同じ目線で集団に参加する経験は、病気がどう生活にかかわっているかを知る貴重な機会となります。

専門コース（2年目）

〔前期〕**指導を受けながら治療的関わりを知る**：医療スタッフの担当ケースを通して、個人の障害を客観的に理解し治療に必要な実践スキルを修得します。またスタッフの視点で集団に参加し、集団運営の基礎的事項を修得し、SST等のリーダー研修もします。

〔後期〕**スーパーヴァイズのもと治療的関わりの指針を立て診療計画を立てる**：集団力動を把握し、スーパーヴァイズのもとに集団運営の研修をします。当事者の就労・就学の援助をする中で、社会資源の有機的な利用をマネージするスキルやアウトリーチ支援の研修をします。また、希望に応じて幅広い精神科医療における研修に参加することも可能です。

●修了生体験談

17期生 五十嵐美紀

（現所属：昭和医科大学附属病院 精神保健福祉士）

私は福祉系の大学を卒業しデイケアの研修生となりました。精神保健福祉士の実習中、業務に追われ限られた時間だけで患者さん方と接している実習指導の先生の姿を見て、やっていた自信がなくなりもっと患者さんとの接し方を勉強したいと思ったのが研修生への動機です。

研修当初はメンバーと同じ立場でプログラムに参加するなど、メンバーがどう生活をして、どういうことを考えているのかを生で感じることができました。担当を持つようになってからは、疑問に思ったこと、嬉しかったこと、ショックだったこと、どんなことも真剣に受け止めてくれる先輩スタッフの方がいることが、私にとって一番勉強になりました。そのことで安心することができ、少しずつメンバーとの関わりに自信を持っていくことができたように思います。

関心を持って頂けたらご応募頂けると嬉しいです。

21期生 矢島明佳

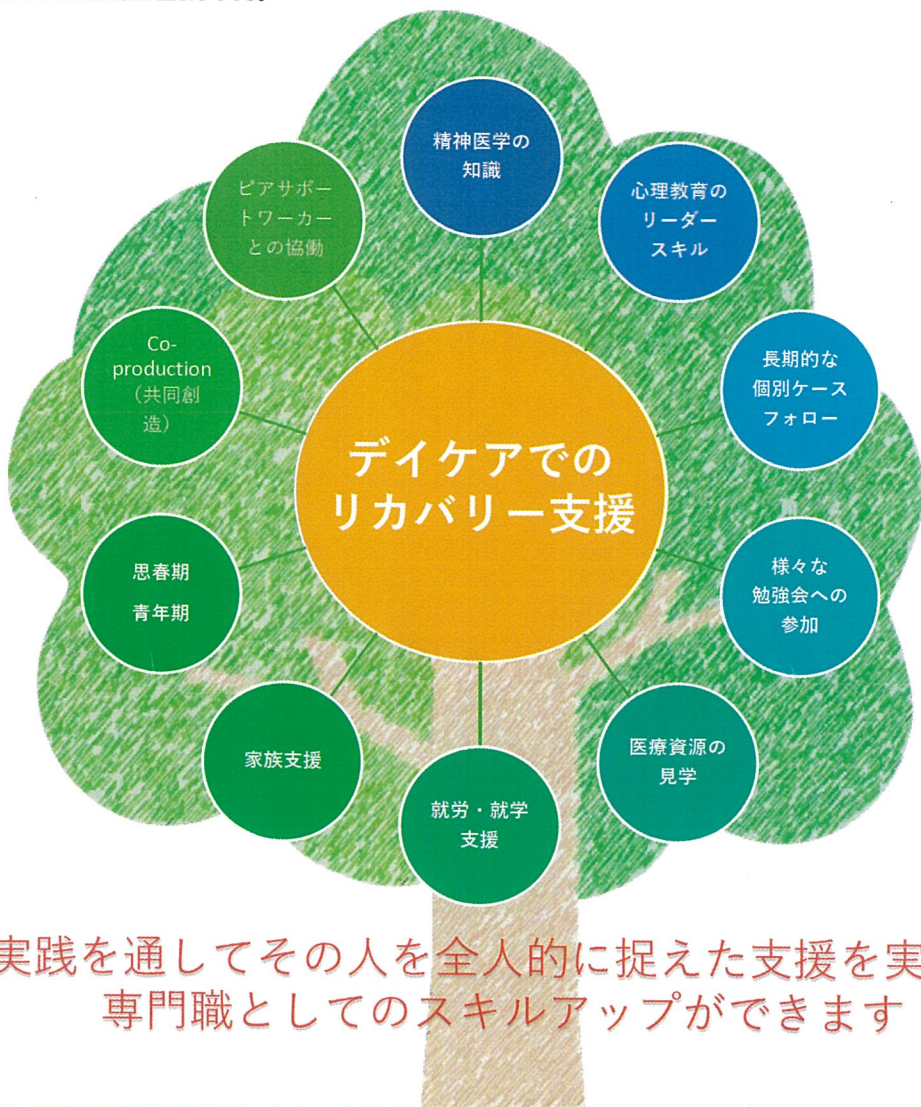
（現所属：東京大学医学部附属病院 臨床心理士）

私が研修を志望したのは、心理系大学院での2年間の学びの後すぐに一人で臨床をする自信がなく、精神科医療の現場で学ぶことでどの領域でも働く自信がつくと思ったからです。

実際、2年間の研修が終わるころには医療のほか、教育、福祉、産業などどの分野でも一人で働けるという自信ができました。それは、研修を通して①患者さんと密に関わり対応の仕方を学べたこと、②精神科医療や心理療法、社会資源などに関する幅広い知識を体験を通して学べたこと、③先輩スタッフの方がどんなときでも細やかに指導して下さったことによると思います。

引き続き東大病院の精神科デイケアで臨床心理士として勤務していますが、現在も患者さんやスタッフから学ぶことはとても多く、充実した仕事生活を送っています。

ぜひご応募いただけたら嬉しいです。



実践を通してその人を全人的に捉えた支援を実現し
専門職としてのスキルアップができます

●説明会:2023年12月14日（木）16:00～

※Bコースの概略については以下をご覧ください。

https://docs.google.com/document/d/1KvUJG1_Vju63JmVQ8YQam2WYtd4af_r5QJNGcA/

●応募について 出願締め切り2024年1月9日必着

出願書類・出願先など詳細は<https://co-production-training.net/application/>をご覧ください。
書類選考合格者には日程調整の上面接（Zoomの可能性あり）、実地試験があります。

*本コースの対象は、医療・学校・行政（保健・福祉）などの領域で対人支援職を目指す方、または既に対人支援に従事されており、さらに高度な知識・技術を身に付けようとする方（例：臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士、社会福祉士などの資格受験資格を有する方または有資格者）となります。